



コロナ下における 学校カリキュラムを問いなおす

— 学校行事・特別活動・総合学習の事例から —

■ 日時

2021年9月18日（土）

14:00-15:30

ZOOM
オンライン会議

■ スケジュール

- 進行 井戸川豊、間瀬茂夫（広島大学）
趣旨説明 広島大学 間瀬茂夫
事例報告1 「なぜ合唱祭を中止しなかったか」
広島大学附属小学校 梅比良麻子
事例報告2 「コロナが浮き彫りにした学校行事や部活動の本筋」
島根県立安来高等学校 広戸茉里
指定討論 「学校行事と特別活動の現状と課題」
愛媛大学 白松 賢
質疑・応答

学校行事、特別活動、総合学習…コロナ以前から働き方改革の名の下に見なおしが行われていたが、コロナ禍にあってこれらの教育活動は延期・中止を余儀なくされ、それは今も続いている。学校の持つ創造性を衰退させないために、今学校カリキュラムを問いなおしたい。

■ 主催

令和3年度教育学部共同研究プロジェクト
「「コロナ」から学校教育をリデザインする学術知共創の可能性と課題」
(研究代表者：吉田成章)
広島大学教育ビジョン研究センター (EVRI)

■ お問い合わせ先



教育ビジョン研究センター (EVRI)
<https://evri.hiroshima-u.ac.jp/18725>
Tel & Fax : 082-424-5265, Email : evri-info@hiroshima-u.ac.jp
☞ QRコード等からお申し込み後、オンライン会議に必要な情報をご連絡いたします